

## 清水合金製作所

## 補強部材シリーズ

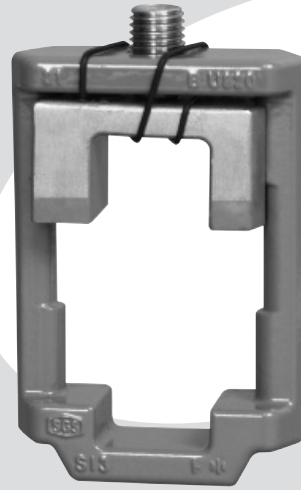
## 数珠つなぎ③

東京営業所 主任 渡邊 祥太 氏



イチオシ!

## カロック



エポキシ樹脂粉体塗装で  
接触部の異種金属接触腐食を防止  
(消火栓 1 台につき 5 個必要)

## 消火栓の「延命、簡単に提供できる価値常に考え

入社 16 年目の中堅営業マン、東京営業所の渡邊祥太主任。名古屋営業所勤務を経て現在は埼玉県・山梨県の事業体や代理店を対象に、製品PRや納期調整、現場対応などで日々奔走している。

イチオシ製品は水道用地下式消火栓用補強金具「カロック」。消火栓の接合部を締め付けて経年劣化による破損・漏水等を防止する、シンプルかつ合理的な構造の補強・延命用金具だ。「接合部のボルトとナットの上からさらに締め付ける万力状の金具です。5カ所の接合部に製品本体を被せ、汎用レンチでねじを締めるだけなので消火栓本体のボルトを外す必要もなく、短時間で施工できます」と紹介する。コンパクトな設計で、弁筐内の狭いスペースでも作業しやすく、取り付け後も口金用継手の着脱に干渉しない。

消火栓と接触する部分はエポキシ樹脂粉体塗装を施しており、異種金属接触腐食を防止している。

「カロックの適用対象であるJWWA規格B103-1969の消火栓は水道事業の拡張期に広く使われていたもので、接合部は炭素鋼製のためステンレスに比べると腐食などによって強度が低下しやすく、水圧でボルトやナットが弾け飛んでしまう可能性がありました」。

水道施設の経年劣化対策が事業体にとって喫緊の課題となる一方で、更新事業にかかる費用をすぐに捻出できるとは限らない。そこで同社は「更新」よりも費用を抑えられる「延命」という提案で課題解決を図った。



施工性の良さを現場で直接感じてもらうデモ施工も好評

「埼玉県内のある事業体では対象規格の消火栓を多数設置しており、限られた予算の中で経年劣化対策をどう進めるかが課題になっていました。ヒアリングの内容を踏まえ、キャンペーンを活用して事業体の庁舎で管工事組合の方を交えたデモ施工を行いました」。待たなしの経年劣化対策を低コスト・短工期で実現できる特長に加え、施工性の良さをユーザー目線で直接感じてもらうアプローチが奏功し、2年連続での受注につながった。

顧客の実情に寄り添った技術開発にも積極的に取り組んでいる。「先ほどの事業体への納入の際、消火栓のメーカーによっては口金とカロックが若干干渉してしまい、施工自体に支障はないものの位置調整が必要になるという声がありました。技術部門の社員とともに現地調査を行い、どのメーカーの消火栓にも干渉なく設置できるように製品デザインを変更し、ねじ締めも汎用工具でできるようにしました」。

他部署と緊密に連携し、会社一丸となって顧客に対応する。「製品だけでなく会社としてお客様にどんな価値を提供できるかを常に考えて、技術開発や納期対応を通じて清水合金に任せておけば大丈夫、という安心感を持ってもらえるよう心掛けています」。営業・技術・製造の各部署がスムーズに情報を共有できるよう、定期的に顔を合わせる機会も設けているという。「製品を納入して終わりではなく、その後も長い間使い続けていただくお客様の課題に真正面から向き合うのがメーカーとしての責務だと考えています。事業環境やお客様の考え方の変化に柔軟に対応し、次につなげられる営業マンでありたい」と話してくれた。



簡単な操作ですばやく消火栓を延命できる「カロック」は、増大し続ける更新需要への対応を迫られる事業体を堅実にサポートしてくれる。原理そのものはシンプルでありつつ、現場のフィードバックを踏まえ、円滑な作業を助ける工夫が随所に盛り込まれている。「更新」だけではなく、より低コストに「延命」できる製品を開発・提案している点からも、水道事業者の課題に寄り添いつつ、供給責任の一端を担っていくとする同社の決意と企業姿勢が強く窺える。